



ドライブレコーダーの活用で 「あおり運転」の被害からドライバーと会社を守る

交通秩序を乱し、重大交通事故を引き起こす原因にもなる「あおり運転」。取り締まりを強化するため創設された「妨害運転罪」では、違反行為に対して、厳しい罰則が科されます。

また「あおり運転」をされたときの対策のひとつとして、ドライブレコーダーの活用が有効です。相手の行為を映像で記録することで、ドライバーと会社を守る決め手になります。また、「あおり運転

をされている」と勘違いされないために、ドライバーの皆さんは、「いつもゆずる」という思いで、心に余裕を持って運転をしましょう。

あおり運転の罰則について詳しくは、



ドライブレコーダー活用について詳しくは、



ドライブレコーダーの役割を知っていますか？

記録

- ・過失の有無を証明
- ・事故処理がスムーズ

映像に記録することで、ドライバーの過失有無の確認や事故後の的確な処理が可能。

共有

- ・安全意識向上
- ・個別指導に活用

映像を社内で共有することで、安全教育の教材として活用することが可能。

出典：警察庁「危険！あおり運転はやめましょう」



睡眠時無呼吸症候群(SAS[※])の検査には スクリーニング検査助成金の活用を

※ Sleep Apnea Syndrome

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、睡眠中10秒以上の無呼吸状態を何度も繰り返すため、睡眠不足による“眠気”や“集中力の低下”が起きます。それが居眠り運転につながり重大事故の引き金になりかねません。

SASの予防・改善に大切なのは、検査の受診と適切な治療です。事業者の皆さんは、社員と会社を守るためにSASの対策を行い、事故防止に努めてください。公益社団法人 全日本トラック協会では、

SASのスクリーニング検査助成事業を実施していますので、ぜひご活用ください。

スクリーニング検査助成事業についてはこちら



申請についてのお問い合わせは、都道府県トラック協会まで



SASは仕事に支障なく検査・治療が可能です

検査

- ・簡易アンケート（第1次）
- ・睡眠時に専用機器で検査（第2次）

基本的に自宅で普段通りの生活を行いながら実施することが可能。

治療

- ・「マウスピース」を使用（軽度）
- ・「鼻マスク」を使用（中等度～重度）

SASと診断された場合は、その重症度から最適な治療法を選択。

出典：公益社団法人 全日本トラック協会「SAS検査助成制度活用 Q&A」